みどりの東北

Midori no Tohoku

No.262
令和8年 2026. 1
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office

CONTENTS

東北森林管理局長　年頭の挨拶 …… 2
使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …… 3
地域発NEWS …… 4～7
国有林野所在市町村の魅力紹介 …… 8～9
地域のこの人 …… 10
イベント情報 …… 11

カラマツ採種園［提供：三陸北部森林管理署久慈支署］

今月のTopics

●第25回白神山地世界遺産地域科学委員会の開催

12月12日に当局大会議室で「白神山地世界遺産地域科学委員会」が開催されました。本委員会は、遺産地域の効率的・効果的な管理をするために有識者委員より科学的助言をいただく場となっています。

委員からは、「白神山地周辺でもニホンジカが増加傾向にあるため、低密度のうちに捕獲等の対策が必要」「遺産地域や周辺地域の入山利用の在り方について引き続き検討が必要」等の意見やモニタリング計画の見直しに向けた提案など活発な議論が行われました。

●令和7年度 東北森林管理局管内国有林野等所在市町村長有志協連絡協議会

12月15日に当局大会議室で「令和７年度東北森林管理局管内国有林野等所在市町村長有志協連絡協議会」が各県の代表世話人として平田衛鯵ヶ沢町長（青森県）、神田謙一住田町長（岩手県）、村上英人蔵王町長（宮城県）、齊藤滋宣能代市長（秋田県）、仁科洋一小国町長（山形県）ご出席のもと開催されました。

協議会では、特に、ナラ枯れ被害対策、熊被害対策、山地災害対策、林業従事者の人材育成について意見交換を行いました。

令和８年 年頭の挨拶
～森の国、木の街の実現に向けて～

東北森林管理局長
箕　輪　富　男

新年を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、平素より、東北森林管理局の業務運営につきまして格別の御理解と御協力を賜っておりますこと、そして「みどりの東北」をご愛読いただいていることに対し、厚く御礼申し上げます。

昨年は、２月に岩手県大船渡市で大規模な林野火災が発生し、８月から９月にかけては、日本海側を中心に大雨による災害が発生しました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、この間、被災地の復旧に尽力されている関係者の皆様の御努力に敬意を表します。

当局においても、皆様の安全・安心な暮らしを守るため、国有林内の災害復旧はもとより、民有林の災害調査の支援を行うなど、被災地の１日も早い復旧に向け取り組むとともに、災害に強い森林づくりに向け、森林整備や治山対策をより一層推進してまいります。

社会問題化しているクマ被害対策については、昨年11月に決定された「クマ被害対策パッケージ」に基づき、林業従事者の安全確保の徹底を図るとともに、生息環境の保全・整備に向けた針広混交林等への誘導に取り組んでまいります。

また、昨年も記録的な暑い夏でした。地球温暖化防止に向けては、温室効果ガスの排出量の削減と吸収量を確保することが重要となっています。森林は、二酸化炭素を吸収し炭素として固定します。また、木材を建物などに利用することで炭素を長期間にわたって貯蔵し続けることができます。

当局管内の森林資源も、人工林を中心に本格的な利用期を迎える中、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を確立するとともに、若い森林を確実に造成することが重要になっています。

このため、需要動向を踏まえた国有林材の安定供給、流通の効率化を進めていきます。また、再造林の際には、成長に優れ、花粉の少ない苗木（特定苗木）を積極的に活用するなど、将来を見据えた「新しい林業」の構築に向け取り組んでいきます。

特定苗木の植栽

さらに林野庁では、「森の国」日本にふさわしい「木の街」づくりを進めるため、自治体や企業等の皆様へ建物の木造化・木質化などの推進について呼びかけを実施しています。

多くの皆様の協力を得て、木材の利用が拡大されることにより、林業・木材産業の発展はもとより、地球温暖化防止にも繋がることを期待しています。

本年は、わが国の森林・林業・林産業施策の基本的な方針を定める「森林・林業基本計画」の見直しを行う１年となります。森林資源の適切な管理、持続的な林業・木材産業の発展、都市等における木材利用の促進、新たな山村価値の創造について検討を進め、未来に希望をもっていただける基本計画になるよう検討を進めていきます。

結びに、本年が皆様1人１人にとって、実り多き素晴らしい１年となりますことを祈念申し上げ、新年に当たっての御挨拶とさせていただきます。

使える！

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

国有林モニター制度

林野庁では、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、「国有林モニター制度」を設けており、東北森林管理局では令和６・７年度モニターとして管内５県にお住まいの47名の方にご活動いただいております。

モニターの方には、広報誌の送付や造林事業等を現地でご覧いただく見学会を通して国有林の様々な取組への理解を深めていただいており、「解説があるので個人で見学するより学習になる」などのお声も頂戴しています。

モニターの方へのアンケートでは、木材利用や森林整備、森林環境教育等に対する意識調査も実施しており、自治体や業界の方にも森林・林業・木材産業への国民の皆様の視点を知っていただける内容としております。

これまでのモニター活動の概要やアンケート結果は東北森林管理局ホームページに公表しておりますので、是非ご覧いただき、気づきの一助としていただければ幸いです。

現地見学会の様子（エリートツリー次代検定林の見学）

令和８年度からは広く国民の皆様の声を集めるため、特定のモニターを定めず、ホームページ紹介やイベント等を通じてアンケートに回答いただくことで、国有林野の管理経営へ反映させるよう努めてまいります。

国有林モニターのページ→

ご関心のある方は、東北森林管理局企画調整課（TEL：018−836−2228）へお問合せ下さい。

地上型３Dレーザスキャナの普及促進について

国有林野事業では、これまで手作業で実施してきた収穫調査業務の省力化・軽労化を図る手段の一つとして、「地上型３Dレーザスキャナ」を活用した収穫調査を推進しています。

地上型３Dレーザスキャナ（以下、「レーザスキャナ」という。）は、赤外線レーザを森林内に照射することで、立木の直径や樹高を自動で計測することができるICT機器です。

従来の収穫調査では、輪尺（立木の直径を測る道具）や野帳、ナンバーテープ等の道具を使って、３～４人体制で実施することが一般的ですが、本調査方法ではレーザスキャナ本体と解析用のPCがあれば実施できるため、２人体制で調査を行うことが可能です。

東北森林管理局では、このレーザスキャナを使った収穫調査の普及を図るため、令和７年７月17日～18日の２日間の日程で、局管内の森林管理署に対して講習会を実施し、44人が講習会に参加しました。講習会では、１日目に現地での実習を行い、２日目にはPCでの解析方法を中心に座学での講義を実施しました。

また、令和７年７月24日には、採用３年目の若手職員を対象に、レーザスキャナの操作方法を中心に実技での研修を実施しました。

現地での実習

当局では、レーザスキャナの更なる活用・普及のため、来年度以降も研修や講習会を継続的に実施し、収穫調査業務の省力化・軽労化を図っていきます。

ご関心のある方は、東北森林管理局技術普及課（TEL：018-836-2023）へお問合せ下さい。

地域発NEWS
（治山・林道事業の取組）

各（支）署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を推進したりしています。

ICTの活用で業務を効率的に！

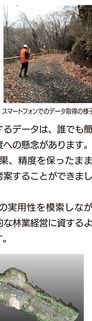
岩手

盛岡森林管理署

当署では４年前からICTの活用に関するプロジェクトチームが発足し、様々な活用方法を検討してきました。今年度は、周とも連携を図りながら、林道被災箇所の測量に活用が可能かどうかの検討を行いました。

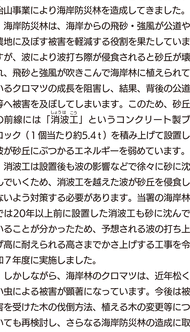
林道被災箇所の測量は通常、専門の技術者や機器等が必要となります。しかし近年の豪雨による災害件数の増加により、人員等が不足しているという問題があります。そこで、誰でも簡単に操作が可能で、身近なスマートフォンに着目しました。

スマートフォンは日に日に技術が進歩しており、３次元点群データを取得することも可能です。そのデータを活用することで測量を効率的に行うことができるのか検証を行いました。


スマートフォンでのデータ取得の様子

スマートフォンで取得するデータは、誰でも簡単に取得できる反面、精度への懸念があります。しかし、検討を進め結果、精度を保ったままデータを取得する方法を考案することができました。

今後も引き続き、ICTの実用性を模索しながら、林道事業を含め効率的な林業経営に資するような取組を行っていきます。


取得した３次元点群データ

海岸防災林の礎となる消波工の役割とは？

秋田

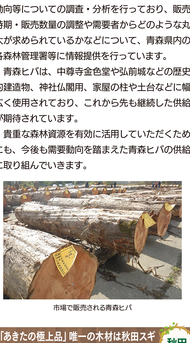
由利森林管理署

由利森林管理署では、「山」にある国有林だけではなく「海岸」にある国有林も管理しており、治山事業により海岸防災林を造成してきました。

海岸防災林は、海岸からの飛砂・強風が公道や農地に及ぼす被害を軽減する役割を果たしていますが、波により波打ち際が侵食されると砂丘が壊れ、飛砂と強風が吹きこんで海岸林に植えられているクロマツの成長を阻害し、結果、背後の公道等へ被害を及ぼしてしまいます。このため、砂丘の前縁には「消波工」というコンクリート製ブロック（１個当たり約5.4ｔ）を積み上げて設置し、波が砂丘にぶつかるエネルギーを弱めています。

消波工は設置後も波の影響などで徐々に砂に沈んでいくため、消波工を越えた波が砂丘を侵食しないよう対策する必要があります。当署の海岸林では20年以上前に設置した消波工も砂に沈んでいることが分かったため、予想される波の打ち上げ高に耐えられる高さまでかさ上げする工事を令和７年度に実施しました。

しかしながら、海岸林のクロマツは、近年松くい虫による被害が顕著になっています。今後は被害を受けた木の伐倒方法、植える木の変更等についても再検討し、さらなる海岸防災林の造成に取り組んでいきます。


嵩上げした消波工と海岸防災林

地域発NEWS
（森林整備等の取組）

各（支）署・センターでは、林道、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

需要動向を踏まえた青森ヒバの供給

青森

青森事務所

日本三大美林の一つである青森ヒバは、樹高が30m、直径80cm以上にも達する日本特有の針葉樹高木です。

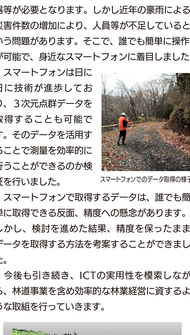
青森県内に生育するヒバが一般に「青森ヒバ」と呼ばれており、県の特産物であるとともに、県木として指定されているなど、当局管内の主要な樹種の一つとなっています。

青森県内の国有林等から生産された青森ヒバの丸太は、委託間屋業者に販売を委託し、伐採届所周辺の山元土場や委託先の市場で販売されています。

当事務所では、販売委託先である委託間屋業者や、丸太購入者等を対象に青森ヒバの市況や需要動向等についての調査・分析を行うとともに、販売時期・販売数量の調整や需要者からどのような丸太が求められているかなどについて、青森県内の各森林管理署等に情報提供を行っています。

青森ヒバは、中尊寺金色堂や弘前城などの歴史的建造物、神社仏閣用、家屋の柱や土台などに幅広く使用されており、これから先も継続した供給が期待されています。

貴重な森林資源を有効に活用していただくためにも、今後も需要動向を踏まえた青森ヒバの供給に取り組んでいきます。


市場で販売される青森ヒバ

「あきたの極上品」唯一の木材は秋田スギ

秋田

秋田森林管理署

厳選された秋田の特産物「あきたの極上品・逸品」の多くを行者菜や西明寺栗、美郷れんこんなどの食材が占めている中、異彩を放っているのが『高齢級秋田スギ』です（QRコード参照）。

この名称は、秋田県で育つ樹齢80年生以上の人工林から生産されるスギ丸太のうち、長さや太さ、節の少なさ等の基準を満たすものの内に付与されます。木材の品質は年数が経ったものが必ず高いという訳ではなく、実際には地形や土壌、気候（日照、降水量）などの生育環境によって大きく異なります。

これらの条件が揃う大仙市協和船岡の小黒川国有林で育つ木は高品質なものが多く、木材業界から高い評価を得ています。同国有林では、令和７年９月から113年生のスギを皮探し、年輪の幅が均一で曲がりも少ないものを『高齢級秋田スギ』として販売しました。入札した製材業者は、「立派なスギがまとまった量で出材されるのは魅力。美しい木目と色合いを活かして板材などに加工したい」と話していました。

当署は高齢級秋田スギの魅力をWebなどで発信することにより、ブランド力をさらに高めていく考えです。

高齢級秋田スギ
最高値は１丸10万円超！

「あきたの極上品・逸品」（県Webサイト）

地域発NEWS

（病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組）

各（支）署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等をしたりしています。

ナラ枯れ被害急拡大と今後の対応

青森

青森森林管理署

ナラ類が枯れる「ナラ枯れ」とは、カシノナガキクイムシという体長５mm程度の虫が媒介する「ナラ菌」による感染病で、近年全国的に被害が拡大しています。

青森県内では平成22年度に深浦町で初めて確認され、今年度は年間被害本数で前年比1.6倍と過去最多を更新し、被害市町村は29市町村と急速に被害が拡大しました。当署管内の国有林においては、昨年度に初めて被害が確認され、今年度は年間被害本数で前年比10.8倍と爆発的な速度で被害が広がっています。

この被害に対して当署としても昨年度から防除事業を実施しており、具体的にはナラ菌に感染したナラ類の葉が赤茶色に変色する７月から８月にかけて目視やドローンを用いて被害状況を把握し、被害木の伐倒・くん蒸に取り組んできました。

今年度は、今後とも引き続き地元関係機関と連携を図りながら、保全すべきナラ林を設定し、その重点的な保護に取り組む考えです。また、感染しやすい高齢で太い木を伐採して森林の若返りを行い、ナラ枯れが発生しにくい森づくりも並行して取り組んでいきます。

くん蒸処理を確認する当署職員

白神山地世界遺産地域合同パトロール

青森

津軽白神森林生態系保全センター

白神山地世界遺産地域では、域内でのたき火や無断伐採等違反行為の未然防止と入山マナー向上のため、白神山地世界遺産地域巡視員や白神山地世界遺産地域連絡会議構成機関等により巡視活動を行っているほか、入山者に対する啓発活動の強化を図るため、巡視員や関係機関（岡、環境省、県、地元自治体、警察署、消防署等）による合同パトロールを年２回実施しています。

今年度青森県側では、ブナ林散策道（西目屋村）、高倉森登山道（西目屋村）、白神岳（深浦町）の３つのコースで実施し、第１回は令和７年７月12日（土）に、第２回は９月13日（土）に、延べ74名が参加して、巡視と入山者に対するマナーパンフレットの配布を行いました。２回とも若干のゴミを拾ったものの、異常はありませんでした。

また、白神山地に興味を持つ人材の育成と巡視員の後継者確保に向けた取組として、令和６年度から大学生を対象に合同パトロール・白巡視員の募集試行を実施しており、今年度は高倉森コースに２名が２回、延べ４名が参加しました。参加者からはまたぜひ参加したいとの感想もいただきました。

来年度も引き続き関係機関の協力を得て合同パトロールを実施し、白神山地の森林生態系の保全管理に取り組んでまいります。

一日巡視員がゴミを回収

地域発NEWS

（ふれあい・管理・総務等の取組）

各（支）署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に国有林の管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

第48回遠野市産業まつり

岩手

岩手南部森林管理署遠野支署

遠野市産業まつりは令和７年10月11日と12日の２日間、市内外から多数の団体・企業が出店しての開催となりました。

遠野支署では産業まつり会場内で合同開催される「第40回森林のくに遠野まつり」に参加し、松ぼっくり、どんぐり、ツルウメモドキ、ムラサキシキブなど様々な材料を使用した「リース＆松ぼっくりツリー作り体験」や、松ぼっくりを魚に見立てた釣りゲーム「まつぼつり」のコーナーを設けました。

当日、参加されたのは親子で体験される方がとても多く、自分好みの材料を念入りに選んで、思い思いに飾りつけしていました。また、リースや松ぼっくりツリーが完成すると、みなさん笑顔になっての記念撮影が印象的でした。釣りゲームも大変人気で、釣れる個数を３個までと制限付きで体験いただきました。

遠野支署のブースでは２日間で87名もの方々にリース＆ツリー作りを体験していただきました。感想もいただきましたが、大変楽しかった、思ったとおりに作れた、来年も作りたいなど、大好評でした。

遠野支署スタッフも大変喜んでおります。来年も、是非ご来場いただきリース作り等を通して森林の豊かさを実感いただければ幸いです。

リース作り体験の様子

協定に基づく現地研修会

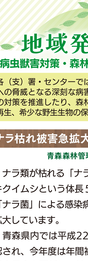
山形

庄内森林管理署

当署では、山形大学農学部と東北森林管理局の連携と協力に関する協定の一環として、年度ごとに海岸林や、林業土木工事現地など、その年のテーマに沿って要望に応じた現地研修会を実施しています。

今年度は、庄内海岸の潟野沢で防風効果についての研修会を実施し、松林のある場所とない場所の両方を体験してもらいました。学生からは「知識としては知っていたが、実際に現場に来ることでより防風林の大切さを知ることができて良かった。」「防風林による風の軽減機能とともに、クロマツ林が作り出す環境の違いに興味を持ちました。」などの感想が数多く出されました。

今後も、現地研修会を継続し、学生たちの森林や自然環境に対する理解や関心が深まるよう努めていきます。



（上）松のない吹きさらしの隣接地
（下）松林の中で防風効果を確認

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

宮城県伊具郡丸森町

仙台森林管理署

人　口	11,327人（R7.11.1現在）
面　積	273.30㎢
市町村の木	すぎ
市町村の花	やまゆり

丸森町は宮城県の南端に位置し、南西は福島県と隣接しています。町の北西部を阿武隈川が貫流し、その流域と支流河川の流域一帯が平坦地を形成しているものの、阿武隈山地の支脈で囲まれた盆地状の町です。

江戸末期から昭和にかけて栄えた豪商の屋敷「齋理屋敷」。重厚な建物や貴重な資料から当時の繁栄を感じられます。敷地一体に絵とうろうが灯る夏の「齋理幻夜」は、幻想的な雰囲気に包まれ、多くの人が訪れる丸森町の夏の風物詩です。

蔵の郷土館「齋理屋敷」

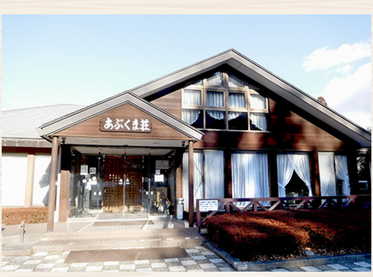
阿武隈川の雄大な流れに身をゆだね、ゆったりとした舟旅を楽しめる「阿武隈ライン舟下り」。春は桜、夏は新緑、秋は川面に映る紅葉、冬は名物のこたつ舟と、四季ごとに異なる表情が訪れる人を魅了します。

阿武隈ライン舟下り「こたつ舟」

四季を通じて、丸森町の豊かな自然を、感じられる「不動尊公園キャンプ場」。夏は満点の星空が広がり、秋は紅葉が場内を染め上げます。日帰りでも、管理棟に併設されたカフェの自家製ドリンクを片手に、澄んだ空気の中で散策を楽しむなど、ゆったりとした時間を過ごせます。

不動尊公園キャンプ場

不動尊公園キャンプ場の近くには、宿泊施設「あぶくま荘」があります。普段の喧騒から離れ、清流の音に癒されながら、ゆっくりとした時間を過ごせます。宿泊だけでなく、丸森の自然を望みながらの日帰り入浴や、職人が紡ぐ和食料理を堪能できるレストランも利用できます。



宿泊施設「あぶくま荘」

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
丸森町商工観光課　Tel. 0224-72-3017

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

秋田県山本郡藤里町

米代西部森林管理署

人　口　2,679人（R7.11.30現在）
面　積　282.13㎢
市町村の木　ブナ　市町村の花　ふじ　市町村の鳥　クマゲラ

藤里町は、秋田県の北部に位置し、“世界自然遺産白神山地”の遺産登録エリアがあります。町の約7割は国有林です。積雪が多い地域の原生的なブナ林は特徴的な景観となっています。もう一点、天然秋田杉の林もユニークな一面です。県道317号線からも気軽に見られる針広混交林は、手つかずの本当の杉林の姿を知ることができる貴重な場所です。

岳岱自然観察教育林は、藤里町の中心地から車で約1時間、普段着にスニーカーで行けるのが魅力の白神山地の奥山に残る原生的なブナ林です。ブナの巨木が佇むさまは、日常では出会えない森の懐かしさと不思議さを感じるかもしれません。かつてのシンボルツリー「400年ブナ」の倒れた姿や新たなシンボル「岳岱大ブナ」の姿、いのちの循環を知ることができるでしょう。

小岳山頂

日本国内において国産のラム肉の流通量は１％未満といわれています。その希少な羊肉が藤里町の特産品となっています。町内においては、「白神山地　森のえき」で町内産クレソンとラム肉のコラボとして“ラムクレ丼”が、また秘伝の自家製たれが人気の田代食堂ではジンギスカン定食が人気です。ぜひ町内にお越しの際はお試しくださいませ。“白神街道ふじさと”（産直）などではお買い求めできます。

白神ラム

町内を練り歩きながら演舞する「藤琴豊作踊り」。その中の一つ「駒踊り」は、肩鎧を顔にぶつけ、時に血をにじませながら踊るものです。勇壮さと里の風情を感じる伝統芸能です。毎年９月７日と９日に行われます。ぜひ演舞を観覧しにおこしください。

藤琴豊作踊り

秋田県道317号線の沿道にある落差12ｍほどの滝。駐車場から徒歩30秒で滝から出るマイナスイオンを存分に浴びることができます。秋は紅葉、冬はライトアップを楽しむことができます。

峨瓏の滝

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
藤里町商工観光課　Tel. 0185-79-2115

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林管理署等で働く人の紹介です。

身近な木材、認識のない林業

青森

青森県森林整備事業協同組合
有限会社白川林産　取締役　白川　弘樹さん

皆さんは、林業と聞くとどういった職種を想像しますか？

私は、実家で林業を営んでいましたが、学生の頃は全く分かりませんでした。漠然と山で仕事をしている人達といった認識しかありませんでした。

実際には、山林の調査や設計をする人、育林をする人、木材を搬出する人、木材を用途に合わせて加工する人等、パソコンを使う仕事から重機やトラック、チェンソーを使用した作業等、多種多様な仕事があります。

一概に、キツイ仕事、汚い仕事という訳ではなく、現在では重機やドローンを使っての作業で、人に負担の少ない仕事が林業の業界でも推進されています。

広大な山林での作業は、他業種では味わえない解放感に満ちており、現場作業では日没前に帰宅しその後は自分の時間を確保する事もできます。

昨年、青森県知事と青森県森林整備事業協同組合青年部会で、対談する機会がありました。そこでは輸出に関する事、木材の新しい用途に対しての事など、様々な話題を議論しました。

皆さんも林業に触れて山や木材に興味を持ち、一緒に社会を支えてみませんか？

青年部会メンバーと青森県知事
県民対話集会「#あおはな」にて

美味しいものを食べて森林づくり

秋田

米代東部森林管理署　花輪森林事務所
地域統括森林官　工藤　信彦さん

花輪事務所は、青森県、岩手県、秋田県が接する北東北の秋田県鹿角市に位置しています。高速道路を利用すると、青森市から約１時間、盛岡市から約１時間、秋田市からは約２時間半で訪れることができます。

管内には十和田八幡平国立公園があり、十和田八幡平の豊かな大地が育んだ郷土色豊かな食に鹿角が発祥の地と言われている「きりたんぽ鍋」や「かづの牛」のほか「鹿角ホルモン」等があります。

地元の美味しいものを食べ体力をつけて、豊かな森林作りのための造林請負等の監督業務、国有林と民有林の境界を調査する境界巡検などの仕事をしています。

月日が経つのは早いもので、東北森林管理局に勤務して40年余りとなり、主に森林づくりの仕事に携わってきました。

転勤を伴う仕事ですが、自分が知らない土地でその土地特有の歴史や食文化に触れ、様々な自然を体験できる職場だと思います。皆さんも、四季を感じられる職場で森林を未来へとつなぐ仕事を一緒にしてみませんか。

下刈検査の様子

東北森林管理局の管内で予定されている

イベント情報

青森県

2/8(日) 菰槌山雪下ろしツアー

真冬の菰槌山で雪下ろし体験をしてみませんか？
一日限りの除雪ボランティアさんを募集しております。

主催 青森県立自然ふれあいセンター

2/8(日) 白神スノートレッキング

静かな冬の森で心落ち着くひとときを

主催 白神山地ビジターセンター

岩手県

1/10～3/29(土)(日) 網張の森豊上バイキング（スノーシューバイキング）

真っ白く雪化粧した網張の森を、ガイドと一緒にスノーシューハイク。

主催 網張ビジターセンター

1/11(日)、18(日)、2/11(祝)、22(日) はじめてのスノーシュー体験

スノーシューとストックのレンタル付。スノーシューを持っていなくても手ぶらで体験できます。この冬、雪上さんぽデビューしませんか？

主催 岩手県県民の森

山形県

1/10～3/15(日) とっておきの樹氷鑑賞ツアー

幻想的な樹氷原地帯を周回に楽しむなら、厳正選抜ガイドによる特別な樹氷鑑賞ガイド、オリジナルの撮り方まで"樹氷に関する技術の習得"を学ぶ一石二鳥のツアーです。

主催 （一社）上山市観光物産協会

1/17(土) 鳥海高原雪原トレッキング

鳥海高原雪原トレッキングを行います。電話又はFAXで直接お申し込みください。

主催 八幡地域観光物産事業実行委員会

1/18(日) 森の雪まつり

新年を森の仲間たちと祝いましょう！
（要申込、参加費：1,000円）

主催 遊学の森案内人

1/25(日)、2/7(土) 初めてのスノーシュー/楽しいスノーシュー

1月25日：雪景のスノーシューで、冒険気分満点のスノーシュー！
2月7日：無垢の雪原をスノーシューはいて、自然を楽しみます

主催 月山ビジターセンター

1/31(土)～2/1(日) いいとワイルド＆アドベンチャー 冬キャンプ

初企画・雪板づくりワークショップ！つくった雪板ですべってみよう！

主催 山形県飯豊少年自然の家

2/14(土) 月山あさひ雪まつり

湯殿山スキー場を会場に、雪上ゲーム、かんじき雪歩き、雪国衣装体験や雪合戦など、あさひの冬を楽しむイベントです。

主催 月山あさひ雪まつり実行委員会

秋田県

開催中～3月頃 スノーシートレッキング

マタギと一緒にスノートレッキングが体験できます。

主催 ゲストハウス ORIYAMAKE

1/18(日) 県立中央公園冬まつり

スノモモやキャラカンか、レクリエーション体験、迷路など、楽しいイベントを用意しています♪

主催 （一社）秋田県総合公社 中央公園事務所

1/24(土)、25(日)、31(土)、2/1(日)、7(土)、8(日) 歴史を感じる雪国体験

歴史を感じられる国登録有形文化財である旧片野家住宅の敷地内に作られたかまくらを、風情のある空間でゆっくりとお楽しみください。

主催 横手市

1/24(土) 講座 ブナ帯の森と世界遺産「縄文遺跡群」

世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」から、秋田県の大湯環状列石と伊勢堂岱遺跡に焦点を当てつつ、詳細の内に迫る縄文人の世界に迫ります。

主催 秋田県森林学習交流館 プラタクリブトン

2/1(日) 森の市

マルシェやワークショップなどが集まったイベント「森の市」でのんびりと過ごしてみませんか？

主催 （一社）白神山地ふるさと観光協会

2/7(土) 第12回 白神山地ふしぎとケッショウ世界選手権2026

世界自然遺産 "白神山地" のふもとで世界クラスのレースを感じてみませんか？

主催 藤里町

宮城県

1/11(日)、12(祝)、18(日)、25(日) 雪上トレッキング

深雪の銀世界を、スノーシューをはいて歩きます。

主催 宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター「ことりはうす」

開催中～3/31(火) 阿武隈ライン舟下りこたつ舟

こたつに入って、丸森産の食材を使った温かお鍋をお楽しみいただきながら舟下りができる大人気企画！

主催 （一社）丸森町観光物産振興公社

1/17(土) 冬の動物の足跡を探そう!!

講師：むかいまいきもの研究所
農学博士　向井　康夫氏（要予約）

主催 仙台市秋保ビジターセンター

1/24(土)～2/1(日) 満喫！蔵王の冬

蔵王の自然に親しむ活動を通して、親子の絆を深めます。

主催 宮城県蔵王自然の家

2/15(日) バードウォッチング入門

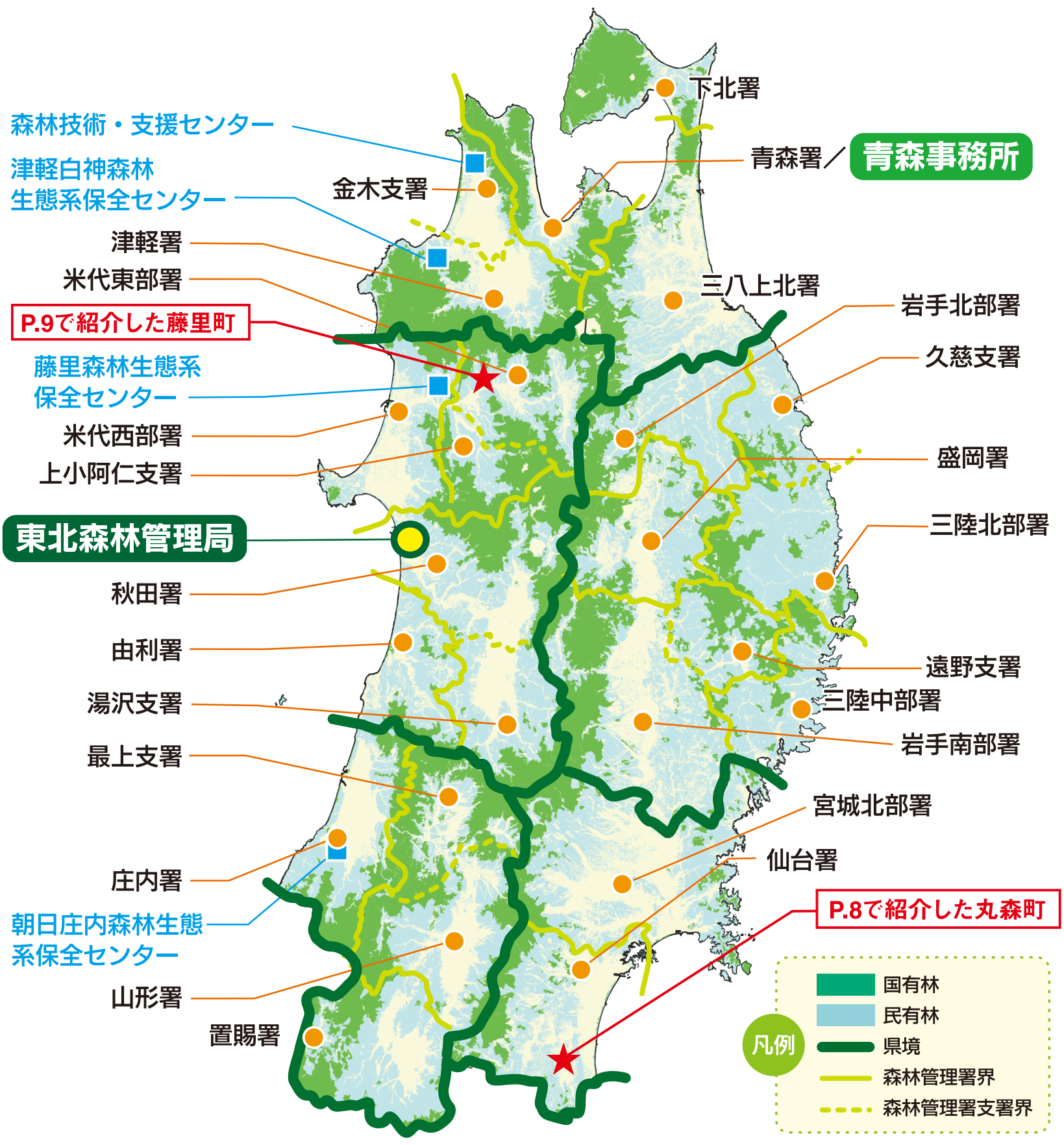
豊かな自然の中で生まれる鳥たちを双眼鏡で探しながら声や姿を身近に感じ、その生態や観察の方法などについて学びます。

主催 志津川自然の家

※掲載内容は、天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。また、掲載の都合等で掲載できなかったイベントもありますのでご了承下さい。

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓

東北森林管理局マップ



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841

東北森林管理局

〒010-8550　秋田県秋田市中通 5-9-16　☎018-836-2014

みどりの東北 Midori no Tohoku

No.262

●発行日／令和８年１月

●発行／東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/

表紙写真

カラマツ種子の需要が高まっている中で、森林総合研究所林木育種センター東北育種場と岩手県と三陸北部森林管理署久慈支署において、国有林内にある使われなくなった採取園を活用する協定を結びました。環状剥皮や抜き切り、断幹・剪定など環境整備を行い着花促進の試験や種子生成を実施しています。